

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【公表番号】特表2017-522298(P2017-522298A)

【公表日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2017-030

【出願番号】特願2016-575397(P2016-575397)

【国際特許分類】

C 07 C 401/00 (2006.01)

G 01 N 33/82 (2006.01)

C 07 K 14/47 (2006.01)

A 61 K 31/59 (2006.01)

A 61 P 3/02 (2006.01)

【F I】

C 07 C 401/00 C S P

G 01 N 33/82

C 07 K 14/47

A 61 K 31/59

A 61 P 3/02 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月18日(2018.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

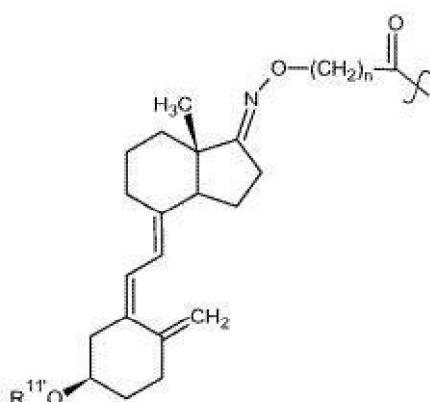
【請求項1】

1つ又は2以上の下記式の化合物を含有してなる組成物。

N H R¹ ' - (C H₂)_r ' - N R¹ '' - ((C H₂)_r ' - N R¹ '')_s - (C H₂)_r ' - N R⁷ '' - Z '

式中、R¹ '、R¹ '' 又はR¹ '''は、各々独立して、

【化1】



及び水素原子から選択され、

R¹ '、R¹ '' 又はR¹ '''のうちの少なくとも1つは、水素原子ではなく、

n は、1から10の整数であり、

r' は、独立して1から10の整数であり、

s' は、1から10の整数であり、

$R^{7'}$ は、水素原子又はアルキル基であり、

$R^{11'}$ は、水素原子、アルキル基、又はアシル基であり、

Z' は、ポリ(アミノ酸)免疫原性担体、非ポリ(アミノ酸)免疫原性担体、ポリ(アミノ酸)標識部分、非ポリ(アミノ酸)標識部分、非標識ポリ(アミノ酸)部分、非免疫原性担体ポリ(アミノ酸)部分である。

【請求項2】

前記化合物の式において、 s' が1である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記化合物の式において、 $R^{7'}$ が水素原子である、請求項1に記載の組成物。

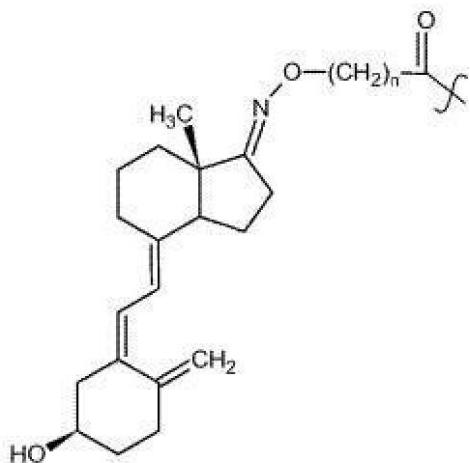
【請求項4】

前記化合物の式において、 r' が2である、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記化合物の式において、 $R^{11'}$ が

【化2】

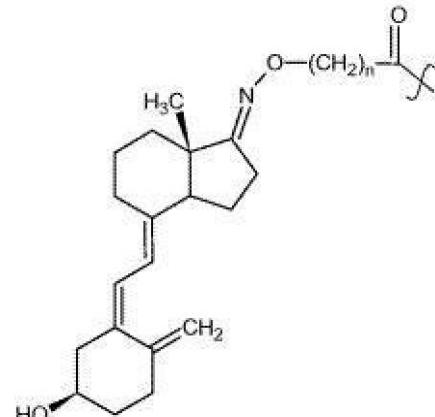


であり、 $R^{11'}$ 及び $R^{11'}$ が水素原子である、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

前記化合物の式において、 $R^{11'}$ 及び $R^{11'}$ が

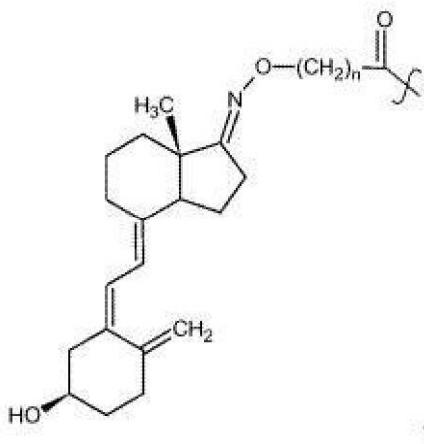
【化3】



であり、 $R^{11'}$ が水素原子である、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

前記化合物の式において、R¹、R¹、及びR¹、が
【化4】



である、請求項1に記載の組成物。

【請求項8】

前記化合物の式において、Z'が、ウシ血清アルブミン、ウシガムマグロブリン、キーホールリンペットヘモシアニン及び卵オボアルブミンからなる群から選択されるポリ(アミノ酸)免疫原性担体である、請求項1に記載の組成物。

【請求項9】

前記ポリ(アミノ酸)標識が酵素である請求項1に記載の組成物。

【請求項10】

前記化合物の前記非ポリ(アミノ酸)標識が、(a)触媒をコードするポリヌクレオチド、(b)プロモーター、(c)色素、(d)蛍光分子、(e)化学発光分子、(f)補酵素、(g)酵素基質、(h)放射性基、(i)有機小分子及び增幅可能なポリヌクレオチド配列からなる群から、選ばれる請求項1に記載の組成物。

【請求項11】

前記非ポリ(アミノ酸)標識部分が、支持体と結合している請求項1に記載の組成物。

【請求項12】

前記支持体が粒子である請求項11に記載の組成物。